

# 夜明け前



蝉の声、踏切の音、ある夏の日の話。

夢と現のたわいない色と音と記憶。

絶望的な 50 過ぎのおっさんの。

かつて悪すぎた

くそめんどくさい 30 過ぎの女と。

絶望の中をあるいている

どうしようもなくくたばれて

ほんま、あほみたい。

もう、めんどくさくなりました。

なんやねん。

もう、どうでもよくなりました。

作 | 小野亮子 演出 | 空ノ驛舎(空の驛舎)

出演 | 石塚博章(空の驛舎) 佐藤あい 津久間泉(空の驛舎) 三田村啓示(空の驛舎) / 隈本晃俊(未来探偵社)

日時 | 2015 年 12 月 20 日 (日) 15:00

※受付開始・開場は開演 30 分前。 ※終演後に合評会を開催。(司会/岩崎正裕)

料金 | 500 円 [限定 40 席、要予約]

会場 | アイホール 2 階 カルチャールーム A 〒664-0846 伊丹市伊丹 2-4-1 <JR 伊丹駅前>

予約・問合せ先 | アイホール(伊丹市立演劇ホール) TEL072-782-2000 メール info@aihall.com http://www.aihall.com

## ★作者プロフィール★

小野亮子 (おの・りょうこ)

30 歳で演劇と出会う。音楽とプロレスを愛す。マスターコース第 5 期にて、岩崎正裕と中村賢司に師事。俳優としても活動。

2008 年、堺市民参加型演劇の戯曲講座「ドラマシアター-SAKAI 塾」(講師:棚瀬美幸、中村賢司)に参加。講座で書きあげた「父は、ゆく」が、翌年、市民劇団「ドラマシアター-SAKAI」の『5 人の作家の 5 つの視点』にて上演されるほか、「朗読ユニット西表 \* iriomote \*」に書きおろした短編戯曲が、堅穴式サーカス vol.3「べいべえ」(2009 年)や、西表主催ライブ『その歌を歌おうじゃないか』(2010 年)でリーディング上演される。

また、パーンヤ大作(ギタリスト、レコーディング・プロデューサー)と、夏目一朗(松山千春のバンドマスター、アレンジャー)のユニット「Toy Flower」の 1st アルバム『腹ふとい』(2015 年 7 月発売)に収録された『どこまでも』の作詞を担当。



文化庁

平成 27 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

主催 | 公益財団法人伊丹市文化振興財団・伊丹市